

令和4年度水害避難訓練に参加しました

令和4年9月10日（土）、戸田市立新曾北小学校を会場として、戸田市新曾地区8町会自治会の住民を対象に「**水害避難訓練**」が実施されました。

戸田市ハザードブック（令和3年4月）の洪水編は、国土交通省荒川上流河川事務所・荒川下流河川事務所の公表する荒川水系荒川浸水想定区域を基に作成されています。荒川上流河川事務所の破堤ポイントは国道463号羽根倉橋付近、荒川下流河川事務所の破堤ポイントはJR京浜東北線鉄橋付近です。それぞれ堤防決壊後15時間後、12時間後には戸田市の全域が浸水となりますが、いずれも降雨量や破堤ポイント、高潮や支川氾濫や内水氾濫状況によって、想定される水深や範囲が実際の浸水深と異なる場合があります。

なので実際の水害に際し私たちは、ハザードマップの想定にとらわれず、**最善の避難行動**をとる必要がありますが、そのためには、様々な情報媒体から発信される防災関連情報を正確に理解し正しく行動するいわゆる「**防災リテラシー**」を向上することが必要となります。

その中で、自治体の実施する防災訓練などは、実際の避難行動に近い体験をすることが出来る貴重な機会です。戸田市では、「災害による犠牲者をなくすためには、自分や家族を守る「**自助**」、地域でお互いに助け合う「**共助**」が大切です。」としており、「地域の防災訓練」、「災害に強いまちづくり推進ワークショップ」など取り組みを進めています。（戸田市HPより）

シティテラス戸田公園自治会では今回、「**水害避難訓練**」に参加し、住民のかたの防災意識の醸成や**公助、共助、自助**の理解向上などに努め、今後も地域防災力の向上につながる活動を続けていきたいと考えております。

シティテラス戸田公園自治会
シティテラス戸田公園自主防災会



想定されている水深5mに対し、会場の新曾北小学校の3階まで垂直避難を体験しました。



当日は消防車など防災に関する車両の展示もありました。

